

1. 基本情報

評価対象年度 (令和3 年度)

施策コード	124	施策名	郷土文化の保全・継承
将来像	1	安全でおいしいのある暮らしができるまち(「暮らし」の分野)	
まちづくりの基本目標	12	生きがいを持って文化的に生活できるまち	
担当部	企画部	担当課	シティプロモーション課

2. 施策の方向

10年後の姿	清瀬の歴史への理解が深まり、誇りと愛着が生まれています。また、次世代に清瀬の歴史と文化が継承されています。		
施策の方向性	1	市民が郷土文化にふれ、清瀬への愛着と誇りを高める環境を整備します	
	2	市の歴史や文化を次世代に継承します	
	3	学校教育での郷土博物館の資料や人材の活用を推進します	

3. 構成事業の状況

(単位:千円)

事務事業名	施策の方向性	担当課	令和3年度決算額
市史編さん事業	2	シティプロモーション課	16,935
博物館事業	1、2、3	シティプロモーション課	6,401
文化財保全事業	1、2、3	シティプロモーション課	23,597
旧森田家運営管理事業	1、2、3	シティプロモーション課	1,022
小学校教育指導事業	1	教育指導課	15,980
中学校教育指導事業	1	教育指導課	11,821
総事業費(施策の合計)			75,756

4. まちづくり指標

指標情報					令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和6年度	令和7年度	
①	名称	博物館事業へ参加し、その内容に満足していると答えた人の割合			目標値	-	-	95.0%	95.0%	96.0%
	説明	-	単位	%	実績値	-	94.8%			
	抽出方法	所管課統計			達成率	-	-			
②	名称	市の歴史や伝統文化、文化財等に関心があると思う人の割合			目標値	53.0	53.0	53.0	54.0	55.0
	説明	-	単位	%	実績値	45.0	45.0(※)			
	抽出方法	市政世論調査(令和2、5、8年度実施)			達成率	84.9%	84.9%			
③	名称	この一年で市内の伝統行事を見に行ったり参加したりしたことがある人の割合			目標値	32.0	32.0	32.0	34.0	35.0
	説明	-	単位	%	実績値	22.5	22.5(※)			
	抽出方法	市政世論調査(令和2、5、8年度実施)			達成率	70.3%	70.3%			

※②③抽出方法が世論調査のため、令和2年度の実績を記載している。

5. 評価(令和3年度実績に対する)

評価基準	評価※	評価理由
投入財源・成果(「3. 構成事業の状況」「4. まちづくり指標」)に対する評価	維持	<ul style="list-style-type: none"> ●博物館事業については、新型コロナウイルス感染症拡大時の一部事業は中止せざるを得なかったが、概ね無事に開催することができた。 ●文化財保全事業については、文化財めぐりを実施するとともに、歴史講座において清瀬の富士講について歴史や祭礼などを紹介した。また、国指定重要民俗文化財「清瀬のうちおり」展示コーナーを新設し広く市民に向けて公開した。 ●旧森田家の主屋を委託し公開したが、年間の来館者が少なく、費用対効果が得られなかった。 ●市史編さん事業においては、『清瀬市史 4 資料編 近世』を刊行した。また、新たに結核療養編と民俗編を刊行するため刊行計画を変更した。 ●小学校教育指導事業及び中学校教育指導事業については、郷土博物館見学の受け入れや出前授業を実施した。

※順調「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が順調に推移している

維持「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗に一部課題がある
停滞「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が遅れている

6. 施策を取り巻く環境

令和3年度からの 変更点	依然として新型コロナウイルス感染症拡大の影響は大きく、一部事業の中止や延期を行った。
-----------------	--

7. 施策を進める上での課題

①	施策を進める 上での課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、博物館へ来館しなくても、市の歴史や文化に触れ、知識欲求を満たすことができるようにする。
	課題に対する 令和5年度以 降の取組	著作権が許す範囲ではあるが、講座や展示などの動画配信、SNSを活用した情報発信を積極的に行う。
②	施策を進める 上での課題	市の歴史や伝統文化について市民の関心を高めるとともに、学校教育での資料活用を推進する。
	課題に対する 令和5年度以 降の取組	博物館収蔵品及び市史編さん過程等で収集した資料の整理・保存・公開を進めるとともに、市史や調査報告書の刊行を通じ、市民の歴史や文化への関心を高めていく。また、学校教育における資料活用を視野に入れ、貸出用キットの整備を行う。
③	施策を進める 上での課題	市内の文化財(有形・無形・埋蔵)や結核療養に係る関連資料等について、適切に保護・保全・活用を図る。
	課題に対する 令和5年度以 降の取組	清瀬市の近現代史の重要なテーマの1つである「結核療養の歴史」について、常設展示コーナーを設置し公開する。また、清瀬市の歴史や文化について、SNSや動画配信などを利用して国内外へ向け広く情報を発信する。
④	施策を進める 上での課題	旧森田家は茅葺屋根の痛みが激しく、市指定文化財として保全していくためには、屋根の葺き替えが喫緊の課題となっている。
	課題に対する 令和5年度以 降の取組	屋根の改修工事を見込むとともに、施設の効果的な活用方法を検討する。